

富 建 幹 第103号
平成20年10月9日

国土交通省道路局長 様

富良野市長 能 登 芳



今後の道路行政について意見・提案書の提出について(回答)

貴職におかれましては、日頃より本市の道路事業にあたり特段のご配慮いただき厚く御礼申し上げます。

さて、平成20年9月19日付、国道企第37号にて依頼のありました、新たな整備計画を作成するにあたっての意見・提案書を別紙のとおり提出いたしますので、よろしくお願いいたします。

記

1. 今後の道路行政についての意見・提案の提出について
別紙意見書のとおり
2. 担当課 富良野市建設水道部 幹線道路整備推進課

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

北海道 富良野市

道路は、国民生活や経済・社会活動を支えるものとも基礎的なインフラであり、活力ある地域づくり、都市づくりを推進し地球規模での環境問題に対処し、安全で安心できる国土の実現を図るためには、国民共通の資産である社会資本を計画的に整備することが重要であり、道路こそ、中核的役割を担うものであります。

今後の具体的な道路整備の姿を示した中期計画を作成するに当たっては、地域間格差への対応、国際競争力の強化、安全・安心の確保、豊かな生活環境の創造等の観点から、国民の道路整備に対するニーズを幅広く汲み取ると共に、国民の期待に応えるべき道路整備を計画的且つ着実に推進することが重要であります。又、今後高齢化する道路ストックが増大する事をふまえ、道路網の安全性及び耐久性が確保されるよう、適時適切な修繕等による効率的な道路ストック管理を行うことを要望いたします。

以上のことをふまえ、北海道は、これまで6期にわたる北海道総合開発計画に基づく社会資本の整備により、日本を代表する食料生産基地として発展してきたところであります。とりわけ、北海道上川地方、旭川・美瑛・富良野地域においては豊かな大地と自然景観により、農業生産はもとより全国有数の観光地としても発展してきたところであります。

しかしながら、広大な土地を有し、積雪寒冷地帯である上川地域は厳しい気象条件と広域分散型の地域特性の下、物流ネットワークの整備や生活基盤の整備、安全性の高い国土保全などの面において、社会資本の整備は未だ十分とは言えない状況であります。又、上川中部・南部圏域は北海道の中央に位置しておりますが、依然として高規格幹線道路の空白地帯となっております。北海道縦貫自動車道と北海道横断自動車道については、計画的に整備推進されてきているところでありますが、これをつなぐ地域高規格道路・旭川十勝道路の整備は始まったばかりであり、北海道及び地域経済の活性化に置いても重要な路線として、早急な整備が求められております。

このことから、北海道上川中部・南部圏域が我が国の安全且つ良質な食料基地として、観光地帯として発展し、その役割が十分果たせるような中期5カ年の整備計画の策定を要望いたします。

以上の事が具体的に実践されるよう下記の事項について重点的に要望いたします。

- ・第7期北海道総合計画の策定と、これに基づく社会資本整備の着実な推進が図られることを要望いたします。
- ・広域分散型社会の北海道に於ける物流拠点と観光拠点、生産地を結ぶ高規格幹線道路及び地域高規格道路「旭川・十勝道路」の整備促進を要望いたします。
- ・地域高規格道路の事業計画にあっては、既存道路を有効活用した道路施策に柔軟にシフトし、短期間で効果が発揮できる道路整備計画の策定を望みます。
- ・積雪寒冷地域である北海道の冬期交通の安全を確保するため、交通環境の改善と計画的な維持による交通確保を要望いたします。
- ・「大雪・富良野ルート」を始めとするシーニックバイウェイ活動を推進し地域の活性化と地域協働の舞台づくりを重点とする施策を要望いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

北海道 富良野市

○ 現状 国は平成19年6月「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2007」を閣議決定し、これに基づく平成 20 年度予算編成については、歳出・歳入一体改革実現を前提とした徹底した歳出削減の予算を国・地方全般にわたって行うこととした。富良野市も他の地方都市と同様に国の財政構造改革の方向を受け、「富良野市財政健全化計画」を策定して、身の丈にあった財政の確立を目指しているところであります。しかしながら、7 年間で地方交付税が 12 億円も減額される中、職員給与費も平均9%カットしながらの財政運営となっているのも現状であり、富良野市総合計画の計画策定においても、新規事業はもとより、公営住宅の建替え、道路改良事業の交付金事業にも着手出来ない現状であります。このような財政状況の中、富良野市の管理する市道は681 kmあり、道路の維持補修や除雪・排雪などに密着した事業については堅持していかなければなりません。また、橋梁や道路など現在でも老朽化が進んできた道路ストックについての更新や長寿命命化などの手当については全く目処が立たない現状であります。	○ 課題 ・道路特定財源が一般財源となる状況にあっても、道路維持・除雪など道路ストック管理が適切に行われるよう、必要な財源は確保されることが最重要課題であります。又、併せて老朽化してきている橋梁の架け替えや更新が重要な道路改良の事業に対して、国の新しい補助制度の確立が望まれます。 ・その上で、少子高齢化社会に対応した、バリアフリー社会の形成が課題であります。 ・死亡事故の多い北海道において、安全安心を高めるため、観光地周辺の交通円滑化対策は、国と北海道と富良野市の連携強化が必要であり、幹線道路と生活道路の整備が重要な課題であります。
---	--

○地域高規格道路「旭川十勝道路」の整備促進要望

北海道に於ける地域特性は、「広さ」と「冬・雪」であり、この地域固有の普遍的な条件をふまえ克服する整備計画の策定が重要な課題であります。

中核都市が広域に分散している特性から、高規格道路の整備が進んでいく中、依然として札幌、旭川間しか都市間の接続は実現されておらず、高次医療が必要な地方都市との連絡は未だ多大な時間を要するところであります。特に冬場の広域移動は、吹雪による視覚障害や路面状況の悪化から夏場に比べ交通の不確実性が増し、中核都市と地方都市を結ぶ地域高規格道路の整備促進は、地方に生活する人々の生命に直結する重要な課題となっております。

又、災害時に於ける緊急ルートの確保も重要な課題であります。富良野圏域に位置する大雪山系十勝岳は現在も活発な火山活動を呈する活火山であり、1988年の噴火時には主要幹線道路や鉄路が通行止めになるなど、地域有事の際の避難路、物流経路、緊急搬送路の確保のためにも地域高規格道路の早急な整備が求められております。

・地域活性化からの観点での地域高規格道路の整備要望

富良野圏域は全国有数の観光拠点であり、道内中核都市及び空港・港湾などの時間距離短縮、交通渋滞の解消などによる定時制の確保と道内観光地への周遊ルートが確保され、市場圏の拡大強化が期待されるところであります。又、人参玉葱などの農産物についても全国有数の生産地として定時制の確保により農林業を始めとする地域産業と地域外の関連施設との連携強化が図られ、地域産業基盤の確立に加え地域産業の活性化が期待されます。

○既存道路ストックの活用と整備提言

・既存道路の活用については「大雪・富良野ルート」を始めとするシーニックバイウェイ活動を引きつづき推進し、地域活性化と地域との協働の舞台づくりとしての活用が望まれます。又、少子高齢化社会に対応したバリアフリー社会の形成が生活に密着した整備として必要であります。

・死亡事故の多い北海道、とりわけ富良野地方は渋滞対策や事故対策、安全安心を高めるための歩道空間の確保など交通の円滑化対策が必要不可欠であります。その上で、積雪寒冷地域の冬期交通を確保するため、計画的な維持・管理計画による交通確保が重要であります。

・既存道路ストックの活用については、橋梁や道路構造物の適切なメンテナンスによる長寿命化を図るべきと考えます。

富良野地域の目指すべき将来像としては、地域高規格幹線道路の早期整備による中核都市と地方都市を結ぶ「広さ」と冬期交通対策を念頭に置いた維持管理計画に基づく整備方針により「冬・雪」と言う地域特性を克服する事が重要であり、同時に、生活に密着する交通の円滑化対策、バリアフリー社会の実現とシーニックバイウェイ活動とボランティア活動を通じての地域協働と地域活性化を図ることが望まれます。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路政策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

北海道 富良野市

○ 重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等	○ その他
・ 高速交通ネットワークの整備 ・ 必要な道路整備を進める整備計画の策定 (趣 旨) これからの道路行政を進める上で、厳しい財政状況の中、効率化・柔軟性が求められるのは必至であり、この視点にたった整備計画の策定が重要であります。	・ 中核都市が分散している地域では、地方都市と結ぶ高規格道路・地域高規格道路の整備が必要 施策の推進にあつては、その整備効果が明確に示されると共に十分な説明責任が果たされることが重要であります。	○ 期待する効果や評価等 ・ 高次医療の享受、冬の広域移動の確実性向上、災害時の緊急避難ルート確保などの効果が期待できます。 道路財源の確保がされることが前提となりますが、効率化を進める上で、既存道路の有効活用を図るなど、柔軟な整備手法の変更により、短期間で効果が発揮できる道路整備計画が期待できます。	○ その他 地域高規格道路は幹線道路網をつなぐ道路として位置づけられておりますが、中核都市と地方都市を結ぶ道路としては、重要且つ生活に密着した道路でもあります。地方が中核都市の持つ都市機能と同じレベルの生活を営むには、極端な時間的制約を受けることのない医療、文化の享受が大前提であります。このことから、地域に住む住民として必要な道路とは、経済効率(B/C)を優先した道路ばかりではなく、都市間を結ぶ道路の整備促進をいち早く望むものであります。
・ 既存道路ストックの活用と長寿命化	橋梁など老朽化が進む道路構造物の長寿命化を図るため、適切な維持管理計画の策定とメンテナンスが重要であります。又、地方道路についても新しい制度による長寿命化が図られることが重要であります。	老朽化する道路構造物が適切なメンテナンスと維持補修により、長寿命化を図り、経済効果を高める。	・ 増大する維持管理費用の効率化を図ることは緊急かつ、必須の課題であります。